

案件 1

◇ (1) 高校生まちづくり会議

1) 高校生まちづくり会議ワークショップ

- 日 時 平成 31 年 3 月 18 日 (月) 14 時～
- 会 場 桜井市役所 大会議室
- 出席者 奈良県立桜井高等学校、関西中央高等学校、奈良県立奈良情報商業高等学校の学生 16 名

「私たちが想像・創造する 10 年後の桜井市」をテーマに学生の方々が 10 年後に何をしているか、10 年後の桜井市はどのようなまちであってほしいかについてワークショップを実施した。

時間	会議の内容
14:00～	1. 開会・事務局からあいさつ 市長挨拶
14:05～	2. 総合計画についての説明
14:10～	3. 本日のワークショップの進め方
14:20～	4. ワークショップ～私たちが想像・創造する 10 年後の桜井市～
14:20～	(1) 自己紹介でお互いを知ろう
14:35～	(2) 桜井市長になったつもりでマニフェスト（政策）を考えよう
15:00～	(3) 各分野の 10 年後の理想の姿についてみんなで話し合おう
15:40～	(4) グループの意見を発表しよう
15:55～	(5) ふりかえり
16:00～	5. 閉会



<市長との記念写真>



<ワークショップの様子>



<ワークショップ発表の様子>



2) 市長への報告会

- 日 時 平成 31 年 3 月 26 日 (火) 10 時～
- 会 場 桜井市役所 市長室
- 出席者 奈良県立桜井高等学校、関西中央高等学校、奈良県立奈良情報商業高等学校の学生 5 名

高校生まちづくり会議の結果について取りまとめを行い市長への報告会を行った。



<市長報告会の様子>



キャッチフレーズ（将来像）		多くの人々が豊かで健康的に住みやすいまち				
分野	1. 地域経営	2. 産業	3. 健康・福祉	4. 教育・生涯学習・交流	5. 環境	6. 生活・都市
キーワード	住みやすい まち	地域色豊かな まち	健康的な まち	学びの まち	キレイな まち	安心・安全な まち
意見	○地域づくり - 住民の意見を反映しやすく出来るように、住民の目線で経営をする《多田》 - 桜井市外へ桜井市の魅力を伝えられるように考えられる場所を作る（観光情報を中心にそれ以外も発信）《中山 愛理》 ○経済 - 地域経営上の作業ロスをなくし、効率化を進める《友佑》 - 被災時に備えた募金活動を活発にする《松下》 ○整備 - 道路の整備《中崎》 - 街灯を増やす《吉川》	○特産品 - 夏にわんこそうめん大会を開く《多田》 - 桜井の歴史や特産品を全面的に出したり、新しいものを作ったりする（目的：観光客の増加）《中山 愛理》 - 桜井市は木材産業を中心としているから箸を入学した学生の1年生に入学祝いとして渡す木材を広める。《松下》 ○観光 - 観光大使を作ってみる！《中崎》 - 民宿事業の支援政策を行う《友佑》 ○経営 - 個人経営の商店が商売しやすいまちづくり《友佑》 - 最低賃金底上げ《吉川》	○高齢者 - 増加していく高齢者に向けて介護施設を増やす《多田》 - 高齢者が健康的な生活ができるように、生きがいを作れる場所やイベントをつくる《中山 愛理》 ○保育・子育て - 子育てのしやすいような財政政策を行う《友佑》 - 保育士（施設）を増やす《吉川》 ○福祉 - 福祉施設が多いので学生などが訪問し、たくさんの繋がりを増やしてコミュニケーションをとる《松下》 - 医療機関の500円統一《中崎》	○交流 - 地域で歴史をテーマにした交流会を開く《多田》 - いろんな国の人との国際交流《中崎》 - 学校と地域の交流で、多文化について意見を交換し、理解を深め合う！《松下》 ○教育 - 桜井市に大学を誘致する《友佑》 - 子ども達がもっと桜井市の歴史に興味を持つようにする《友佑》 - ゴミの分別や処分方法、3Rの学習を行う《中山 愛理》 ○その他 - 今後の災害に備え、過去の災害や災害への対策を学習するまた、学習できる場や、きっかけを作る《山中 愛理》 - 桜井市の人々や幼稚園児から中学生と他の市からも人が集まる高校生との地域交流を行い、桜井市をより活発にする《中山 愛理》 - 人権教育の強化《吉川》	○ゴミ - さらなるゴミの減量化と河川環境の保全、緑（木々）の確保と増加を行う《中山 愛理》 - 桜井市のリサイクルの割合を向上させる《友佑》 - ゴミ箱の設置・個数を増やす《吉川》 - もえるゴミ・もえないゴミの分別をなくす《中崎》 ○その他 - 吉野材を使った家や器具を作り、市民や県民に良さをさらに知ってもらおう《多田》 - 歴史的な建物などに寄付し、伝統を残していく《松下》	○防犯 - 近隣住民と協力し、防犯や防災対策を行う《多田》 - 通学路の見守り隊の人を増やす《中崎》 ○防災 - 大地震への防災対策を万全にする《友佑》 - 避難所と避難経路を改め、増やす《吉川》 - 災害対策（訓練や備蓄）をしっかり行い、緊急時に行動できるようにする《中山 愛理》 ○その他 - 桜井駅だけでなく多数の所に公衆トイレを増やす《松下》 - 限りある土地を最大限有効活用する《友佑》

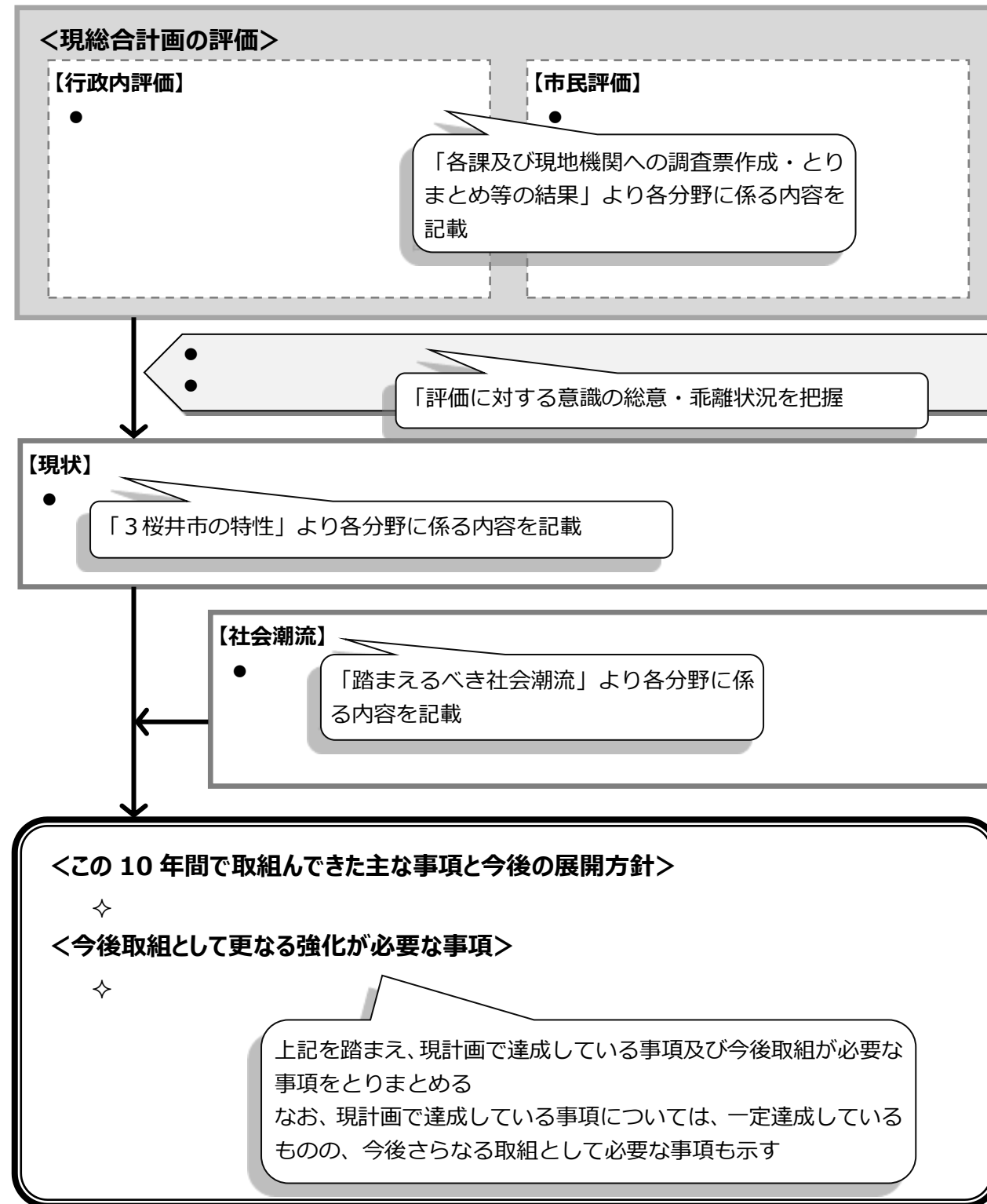
キャッチフレーズ（将来像）		みんなが楽しくて治安が良いまち				
分野	1. 地域経営	2. 産業	3. 健康・福祉	4. 教育・生涯学習・交流	5. 環境	6. 生活・都市
キーワード	わかりやすい まち	楽しい まち	居場所のある まち	交流と学習の まち	エコな まち	安全な まち
意見	◎桜井市のホームページをもっと見やすくする ◎ホームページに説明文をつける ・コミュニティバスの柄を市民から応募する《前田》 ・土地を増やして人がいっぱい住めるようにする《瀧田》 ・桜井市全体の清掃ボランティア《住田 叶多》	◎「三輪そうめん」の宣伝をもっと工夫してみる《住田 叶多》 ◎イベントをつくる ◎多武峰の木材を使ったイベント（木工教室など） ・桜井市ゆかりの神話などの紙芝居を作って、それで歴史を知ってもらおう《前田》 ・歴史が感じられるところなど、観光出来る所をつくる《瀧田》 ・観光地にきれいな地図を作る多言語	◎まちなかに健康器具を設置する韓国でやっているみたいな《前田》 ・劣化しにくいものをつくる ◎放課後クラブをもっと充実させる ◎介護施設の設置《瀧田》 ・災害時の高齢者への対応《住田 叶多》 ・場所を把握してすぐに助けられるようにする	◎桜井市の産業と文化の歴史を学ぶための場所をつくる《住田 叶多》 ◎自学自習の時にタブレットを使えるようにする《瀧田》 ◎チャレンジデーの実施《前田》 ◎ゲートボールなど高齢者が集まって運動できる公園をもっと増やす ◎生涯スポーツが出来る場所をつくる	◎化学製品でなく、自然のものを使う《瀧田》 ◎ペットボトルを回収して、回収した量に応じて換金できる機械を設置《前田》 ◎ポイント交換できるようにする ・桜井市の木材を使った作品等を設置《住田 叶多》 ・桜井の山にある豊富な自然を知ってもらえるようなイベントを開催する（子どもから大人まで）	◎わんわんパトロールを実施する《前田》 ◎「南海トラフ地震」による二次災害への対策《住田 叶多》 ◎地震に耐えられるような施設をつくり、食料とかをストックさせておく《瀧田》 ・地下に非常食を入れておく ◎ハザードマップや AED などを増やして町の目に付きやすいところに設置する ◎公園など人目に付きやすい所に設置する

キャッチフレーズ（将来像）		地域 みんなが活気あふれて、笑顔の絶えないまち				
分野	1. 地域経営	2. 産業	3. 健康・福祉	4. 教育・生涯学習・交流	5. 環境	6. 生活・都市
キーワード	楽しめる まち	活気あふれる まち	共存できる まち	つながりあえる まち	真っ白な まち	安心・安全な まち
意見	- 観光場所の細かい内容の案内板をつくる《平田 有紀》 - 行政と市民との情報共有が不十分のため、情報交換の場や機会を増やし、協働の地域づくりを目指す - 桜井のお祭りを企画し、増やす - まちのみんなと協力して新しいまちをつくる《中坊 春貴》	- 何年かに1度そうめんサミットを開き、地域の人にもっと地場産業への興味を持ってもらい、他の地域の人にも関心を持ってもらえる行事を開く《平田 有紀》 - 観光客に対する効果的な観光案内や空き家を利用した民泊施設などを充実させる - 観光のために、町のスタンプラリーをつくる - 桜井市のキャラクターを使う - 大型商業施設を建てる《中坊 春貴》 - 最低賃金の底上げ	- 義務教育まで、医療費の無償化または、軽減化《平田 有紀》 - 子育て支援を拡張する《中坊 春貴》 - 保育士（施設）を増やす - 高齢者が楽しめる場所づくり - 高齢者の地域での孤立を防ぐためあらゆる世帯の人との交流を増やし、共に生きるまちづくりを展開する - 桜井市内にある町同士でグループになって、ミニ運動会みたいなものを開催する - ゲートボール場設置（増やす）	- 放課後に地域の有志の人や地元の高校生・大学生などが、小・中学生にボランティアとして勉強を教えるシステムをつくる《平田 有紀》 - 桜井市にある学校の全部でお祭りを開く！！ - 多言語化市民の多文化理解への対策をし、外国人観光客や在日外国人が生活しやすい環境を整える - 多文化共生を推進する《中坊 春貴》 - 人権教育の強化 - 部落とかについて	- 小・中・高生と一緒に地域の人と市内一斉清掃を行う事業をはじめ《平田 有紀》 - ゴミ箱の設置場所と個数を増やす - 市民にペットボトルのキャップの回収を呼び掛ける《中坊 春貴》 - ペットボトルキャップは確か何個かでワクチンになるとか・・・桜井から世界を助けられるかも?? - 空き地を無くす！ - 雑草無くして公園を作る！！ - 環境に対する教育・学習で環境問題を身近に感じてもらい、不法投棄やごみの削減・分別に協力的になってもらう	- 幼稚園・保育園および小・中・高校の建物の耐震化の徹底《平田 有紀》 - 避難所と避難経路を改め、増やす - 定期的に乾パンを桜井市民に配る - 市全体での災害対策に力を入れる《中坊 春貴》 - 市民の協力・合意の元、日常的に点検・整備などをし、道路管理と共に歩道のバリアフリー化を進める - 街灯を増やす

(2) 第 5 次桜井市総合計画の総括

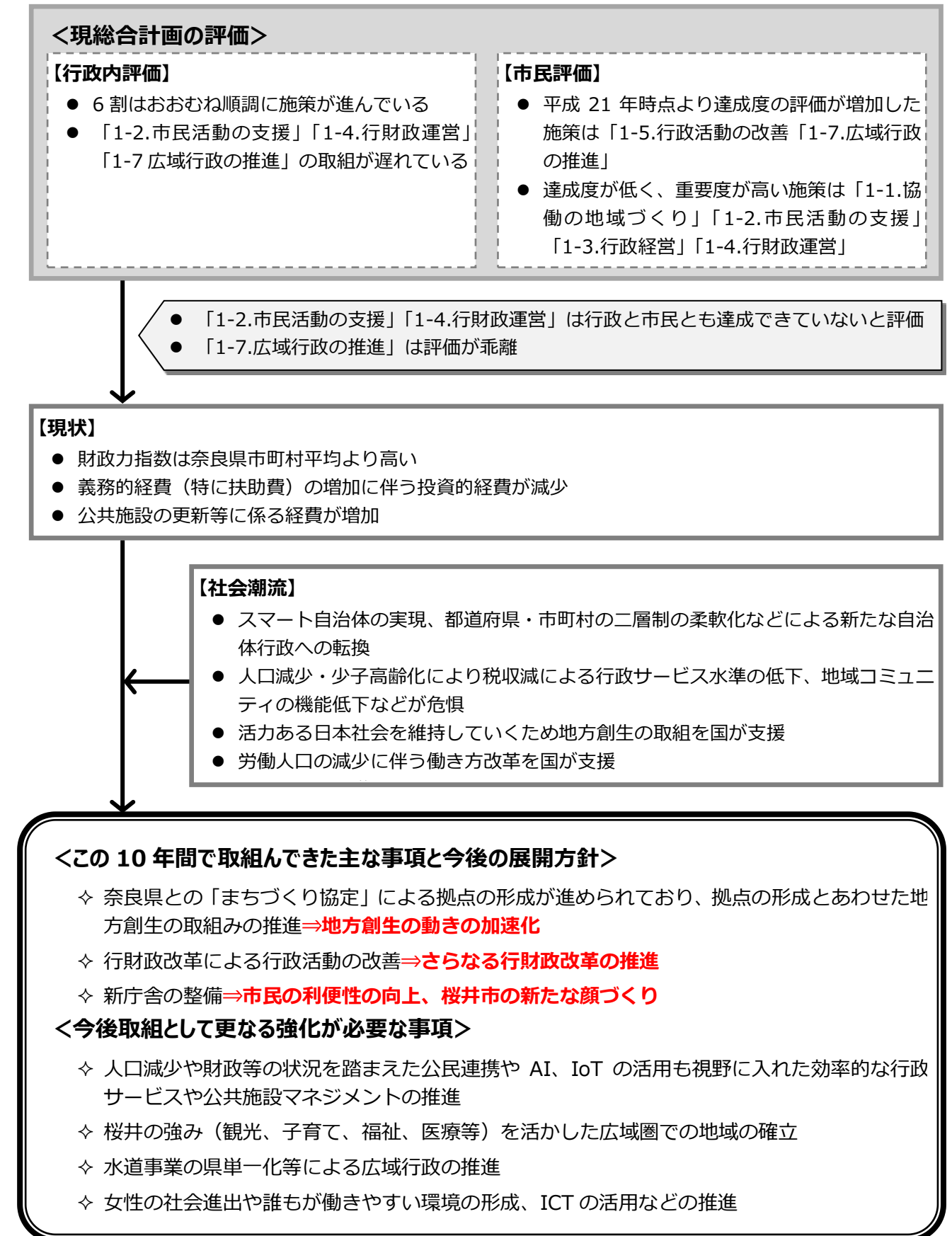
1) 総合計画の総括の方法

現総合計画の総括は行政内及び市民の現総合計画の評価をもとに、現状、社会潮流を踏まえ現計画で達成している事項と今後取組が必要な事項についてとりまとめる。



2) 分野別の総括

■ 地域経営分野



■産業分野

<現総合計画の評価>

【行政内評価】

- 「2-5.雇用・労務対策」は順調に施策が進んでいる
- 「2-1.観光の振興」「2-4.商業の振興」は取組が遅れ目標達成が難しい

【市民評価】

- 平成 21 年時点より達成度の評価が減少した施策は「2-4.商業の振興」
- 達成度が低く、重要度が高い施策は「2-4.商業の振興」「2-5.雇用・労務対策」

- 「2-1.観光の振興」「2-4.商業の振興」は行政・市民とも達成できていないと評価
- 「2-5.雇用・労務対策」は評価が乖離

【現状】

- 農家数、農業就業者数の減少と高齢化、耕作放棄地の増加
- そうめん、笠そば、質の高い木製品等の銘産品・特産品が存在しているが地域資源として活かしきれていない
- 多彩な歴史文化遺産（卑弥呼の里、大神神社、長谷寺、談山神社、箸墓古墳、街道）などの観光資源が存在し資源に対する満足度は高いが「観光施設間の移動手段」「観光情報の発信」「飲食・土産に関する施設」に対する満足度は低い
- 観光ボランティア・案内人の不足、観光関連団体間の連携不足、外国人旅行者に対する受入れ環境の不備（宿泊施設不足）
- 就業者人口は減少傾向が続き市外へ流出
- 企業誘致や企業の進出支援に対する市民ニーズが高い
- 産業従業者数 1 人あたりの製造品出荷額等は奈良県平均より低い
- 近鉄・JR 桜井駅を中心とした居住地では商業施設が徒歩圏域であるが、商業が停滞し中心市街地の活力が低下

【社会潮流】

- AI、IoT 等の技術の進歩、Society5.0 の進展による生産の効率化の推進とそれに伴う雇用機会喪失の恐れ
- 場所や時間を選ばない多様な働き方の実現などの働き方改革の推進
- リニア中央新幹線、京奈和自動車道、中和幹線道路等の広域交通網の整備による利便性の向上や交流人口の拡大と都市部へのヒト、モノ、カネの流出の加速化
- 民間活力の導入促進
- 日本文化への関心の高まり、航空運賃の低価格化、ビザ緩和などによるインバウンド観光の進展

<この 10 年間で取組んできた主な事項と今後の展開方針>

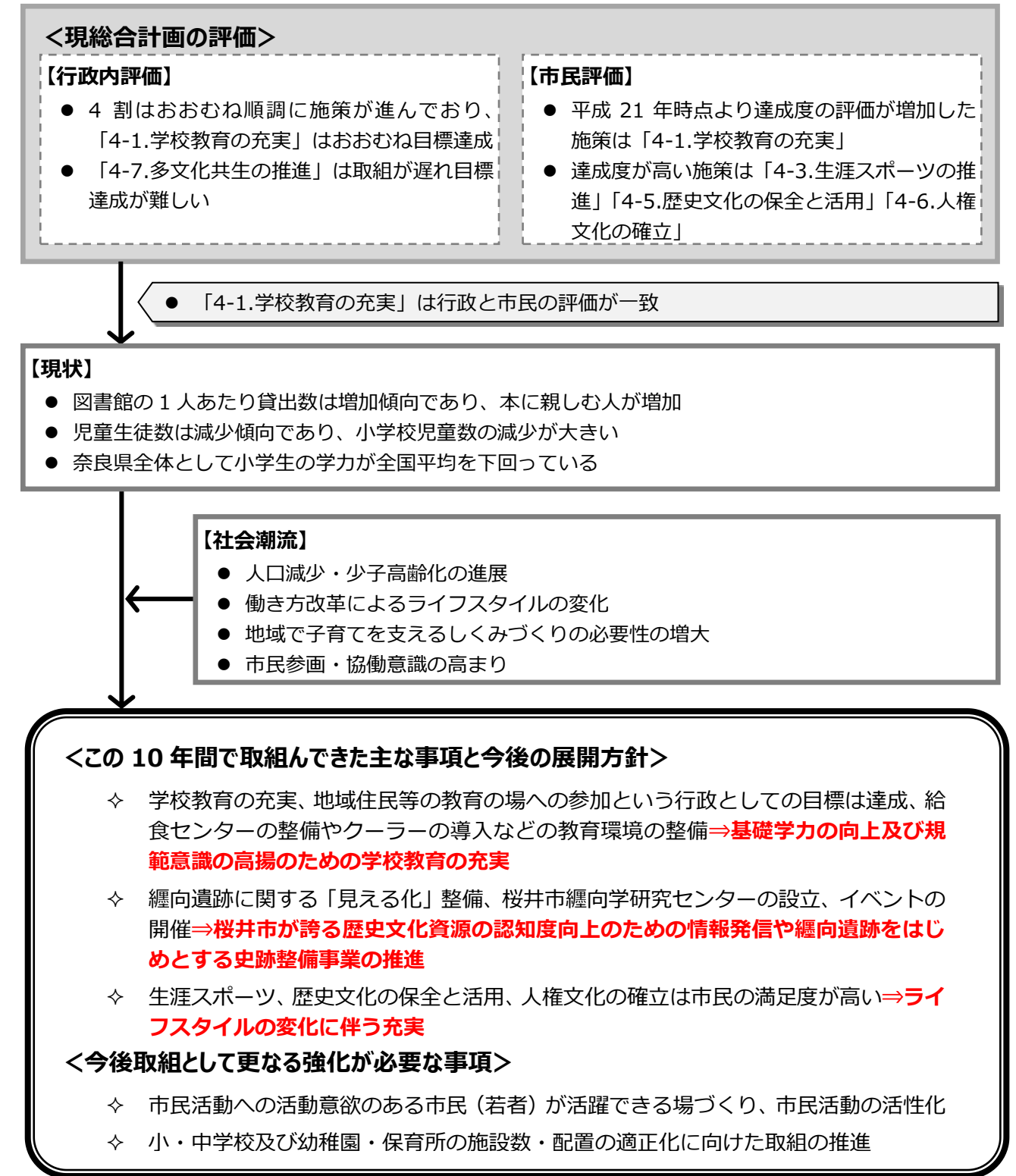
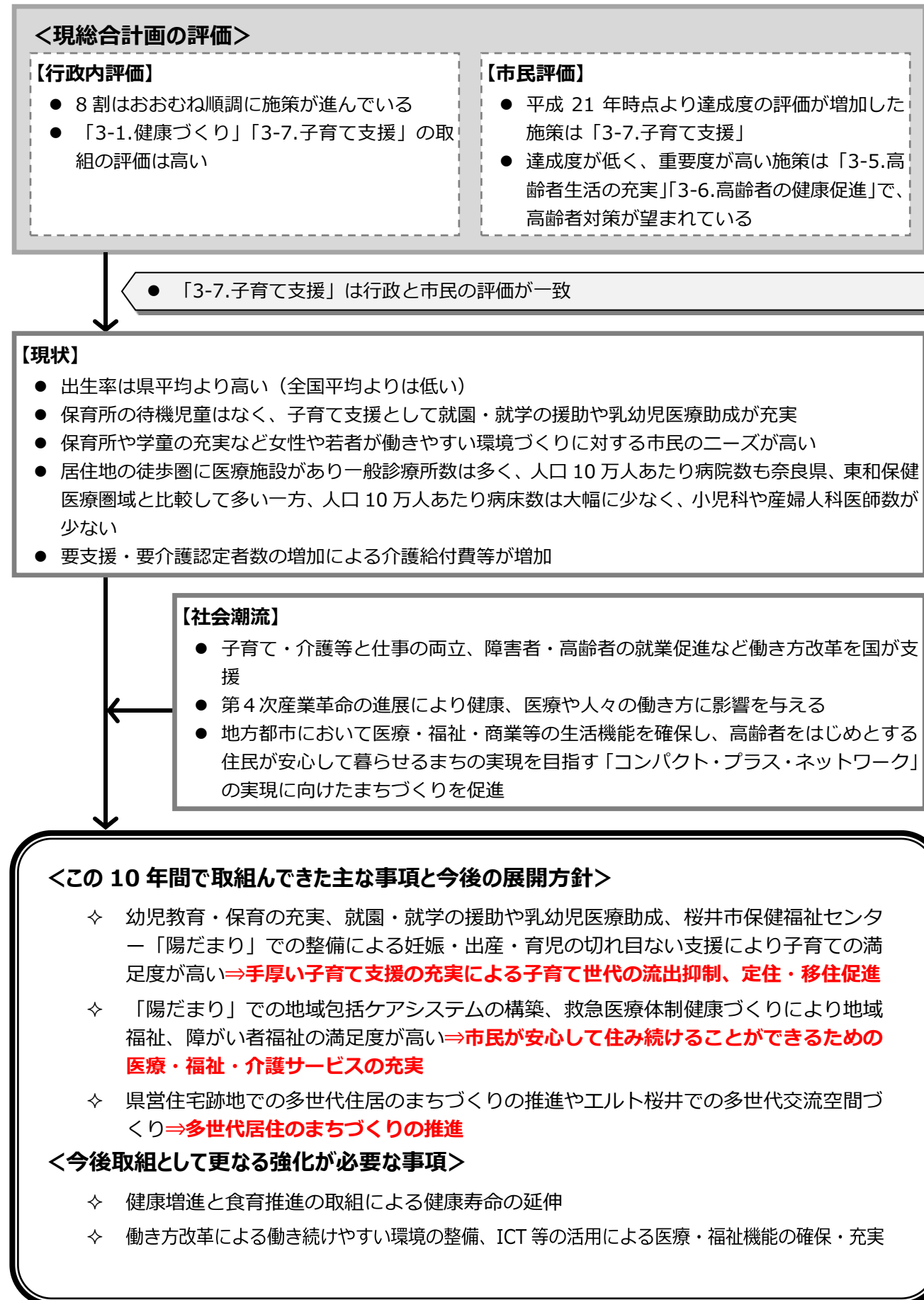
- ◇ 農林業の振興における森林施業面積、耕作放棄地解消面積の行政としての目標は達成⇒**さらなる林業の振興、観光への活用**
- ◇ NAFIC の誘致と NAFIC を核とした農業の振興⇒**ガストロノミーツーリズムなどの「食」や「農」をテーマとした産業の創出**
- ◇ 雇用・労務対策における有効求人倍率、就業率の行政としての目標は達成⇒**さらなる働く場の創出**
- ◇ 全国そうめんサミットの開催、「大和さくらいブランド」の実施⇒**特産品の認知度向上によるブランド強化**
- ◇ 桜井駅周辺地区の空き家・空き店舗の利用促進⇒**中心市街地での空き家・空き店舗の利用促進による地域活性化の推進**
- ◇ 桜井を代表する歴史文化資源（大神神社、長谷寺、纏向遺跡）周辺での環境整備や賑わい創出に向けた地域主体による検討体制の構築⇒**歴史文化資源周辺での商業施設の誘致やイベントの開催による賑わい創出の推進**
- ◇ 観光産業振興に繋げるためのホテルの誘致⇒**市内の事業者との連携による滞在型観光の PR や観光メニューの開発**

<今後取組として更なる強化が必要な事項>

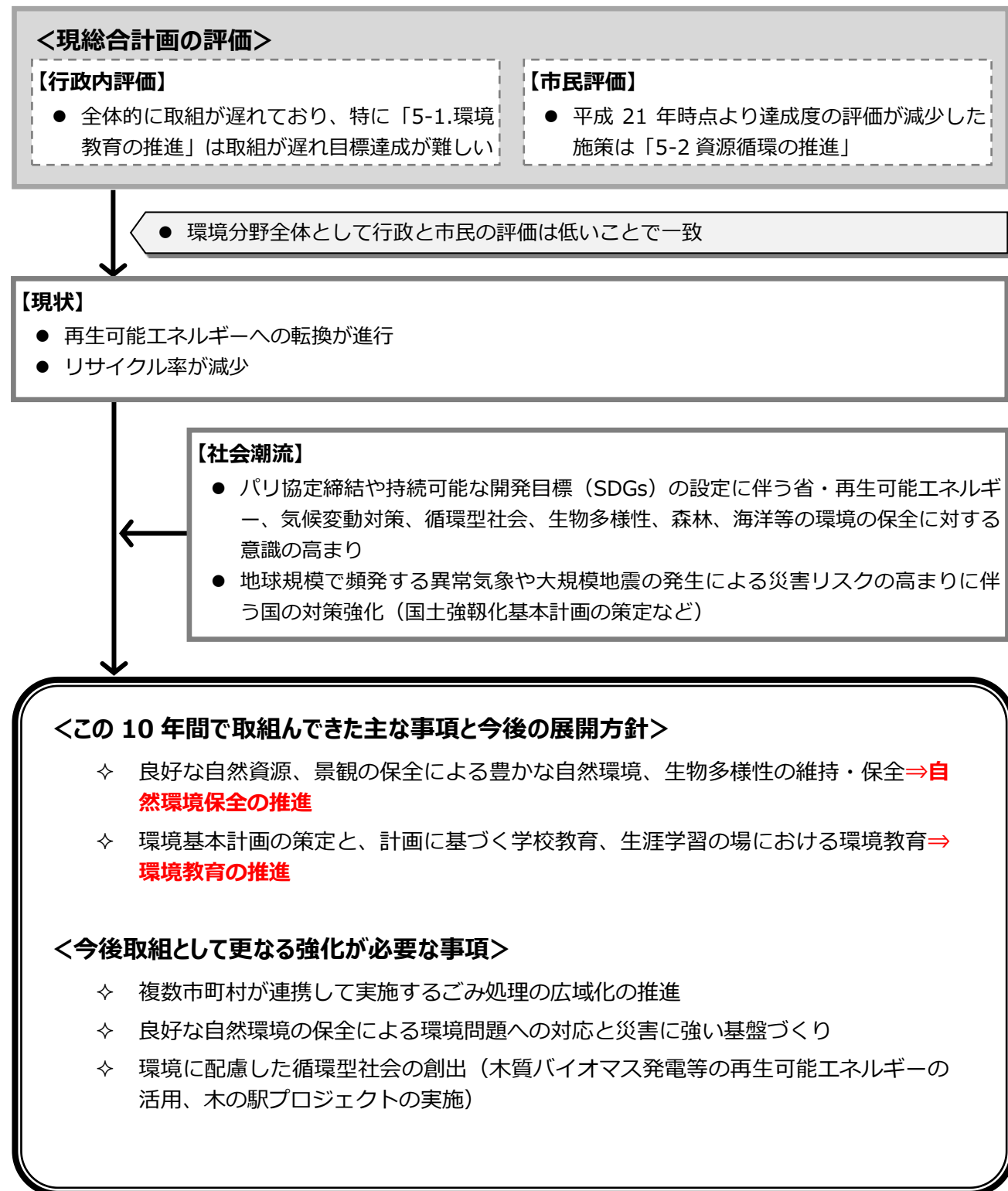
- ◇ 森林環境税の導入による木材産業の活性化
- ◇ 女性の社会進出や誰もが働きやすい環境の形成、ICT、AI 等の活用による農林業、工業の効率化
- ◇ 将来的なりニア開通やインバウンド観光の進展を契機とした、周辺自治体との観光を軸にした広域連携の推進
- ◇ 広域交通ネットワークの形成を契機とした新たな企業誘致
- ◇ コンパクトシティ化による人の集積強化と商業の活性化
- ◇ 中山間地域におけるシェアオフィスなどの拠点整備による新たな産業（クリエイティブ産業等）の創出

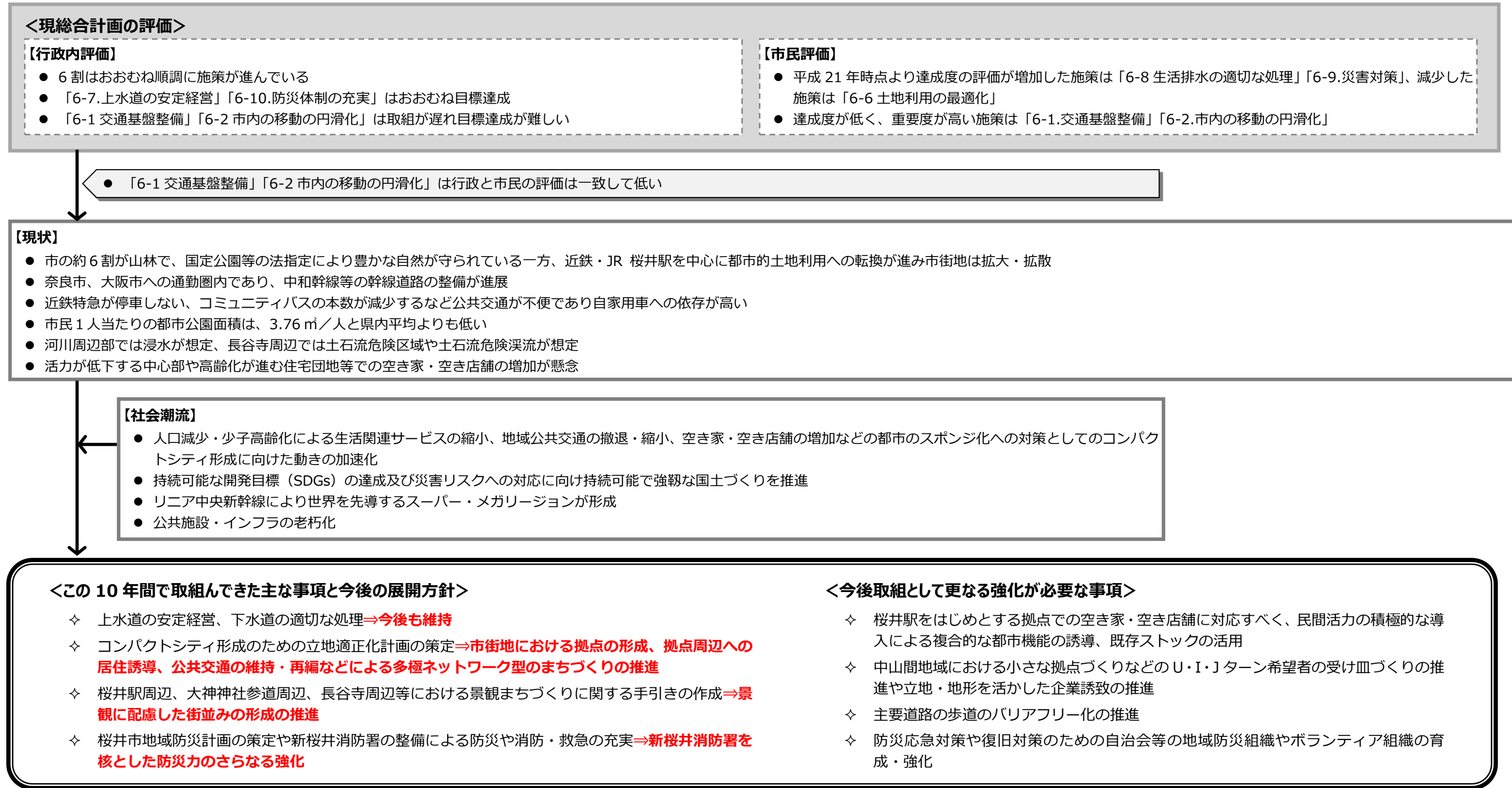
■健康・福祉分野

■教育・生涯学習・交流分野



■環境分野





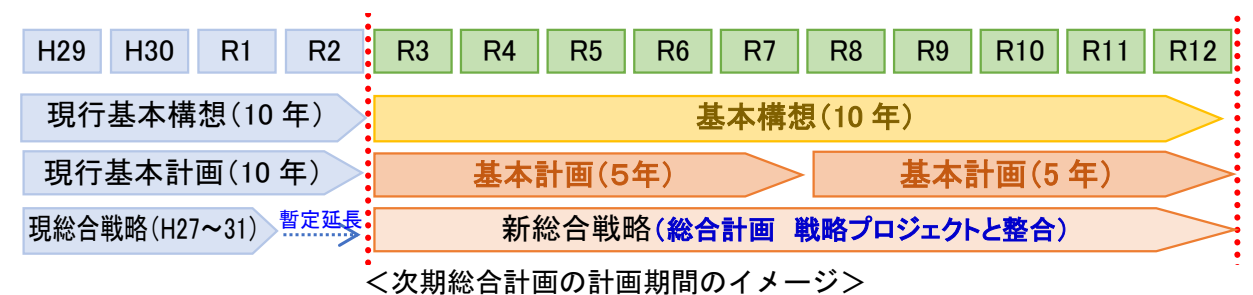
(4) 第6次桜井市総合計画の考え方と構成

1) 第6次桜井市総合計画の考え方

- 第6次桜井市総合計画は、平成27年度に策定した「桜井市人口ビジョン」及び「桜井市まち・ひと・しごと創生総合戦略」等の既存計画の改定とあわせ、相互の計画が連携して桜井市のまちづくりを効率的、効果的に進めることができるよう整合性を図る。
- 計画の進捗状況を明確にすることが重要であることから既存の事務事業評価とも連携しやすい総合計画を作成する。
- 行政が運用しやすく、かつ市民にも計画の進捗状況が理解できる総合計画を策定する。

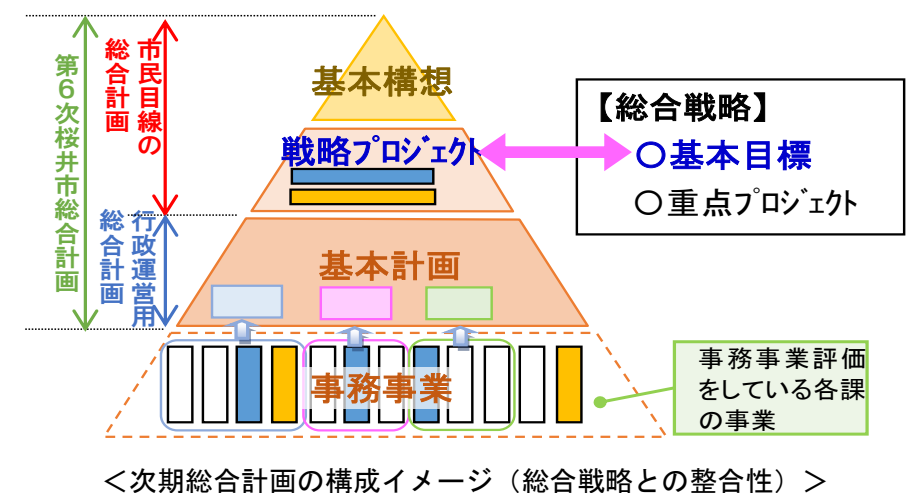
2) 総合計画の策定期間

- 総合計画の策定期間は、社会の変化や施策・事業の進捗に応じて柔軟に見直しを可能とするため、基本構想を10年、基本計画を前期、後期各5年とする。



3) 総合計画の構成

- 総合計画の構成は、まちの将来の方向性を示す「基本構想」、今後10年で重点的に取組む「戦略プロジェクト」、事務事業を関連づけた方向性を定める「基本計画」の3層構造とする。
- 「戦略プロジェクト」は桜井市が今後の10年で特に戦略的に実施すべき取組（総合戦略の基本目標）を位置づける。



■市民目線の総合計画とは・・・

- 簡潔で分かりやすい表現、図やイラストなどで市民の生活の姿などを示すことで、桜井市がめざす姿を市民と共有するツールとして総合計画を作成。

■行政運営用総合計画とは・・・

- 「基本計画」は、「基本構想」に位置づけた柱ごとに担当部署、現状、課題、市民生活の目標像（めざすまちの姿）、関連計画など各部署が実施する事業を簡潔にとりまとめる。
- 毎年作成している施策・事務事業評価の結果を踏まえ、柔軟に見直しができる計画とすることで、使いやすい、見直しのしやすい基本計画とする。

(3) 人口フレーム

■将来人口推計の概要

推計期間： 平成27年(2015年)～平成57年(2045年)まで5年ごと30年間
 基準人口： 平成27年10月1日国勢調査人口(男女別年齢別)
 推計対象： 全市：五歳階級別男女別人口
 推計方法： コーホート要因法

■人口推計の考え方

ア. 合計特殊出生率仮定値の設定

- ⇒ 国の長期ビジョンにおける合計特殊出生率の目標値である、平成52年(2040年)2.07を各種施策展開による事業効果を踏まえ、国の目標（人口置換水準）を早期に達成・推移すると仮定し、将来人口を推計

イ. 純移動率仮定値の設定

- ⇒ 全世代の転出抑制施策を展開し、流入傾向の年代の移動率は維持しつつ、流出過多の年代の社会移動を段階的に±0に移行すると仮定して将来人口を推計
- ⇒ 特に子育て世代の転入促進施策を展開し、該当代代（25歳～39歳）の流出を2020年1/3、2025年1/4、2030年1/5に抑制仮定して将来人口を推計

■将来人口フレーム

上記により2040年の人口は50,198人と推計

